

【在宅医療・介護連携相談支援室】

問26 各区にある「在宅医療・介護連携相談支援室」についてお聞きいたします。
(○はいくつ)

1	知っており、実際に相談・連携したことがある
2	知っているが、実際に相談・連携をしたことはない
3	知らなかったが、今後は相談・連携したいと思う
4	知らなかったし、今後も相談・連携しないと思う

【サービ担当会議】

問27 サービ担当会議の開催にあたり、困難と感じていることは何ですか。
(○はいくつ)

1	自分の日程調整
2	主治医との日程調整
3	サービ事業所との日程調整
4	利用者の出席
5	家族の出席
6	会場の確保
7	資料づくり
8	会議の進め方に不安があること
9	他の施策分野との連携
10	その他 ()

【サービ担当会議における各職種への出席要請】

問28 サービ担当会議における、各職種への出席要請に関する方針についてお聞きいたします。(○はそれぞれとつ)

	基本的に出席を求め ることにしている	ケースによっては 出席を求める	ほとんど出席を 求めることはない
(1) 病院の医師	1	2	3
(2) 病院の看護師	1	2	3
(3) 診療所の医師	1	2	3
(4) 歯科医師	1	2	3
(5) 薬剤師	1	2	3
(6) 訪問看護師	1	2	3
(7) 地域包括支援 センター	1	2	3

【サービ担当会議での工夫】

問29 サービ担当会議の開催にあたり、担当者への聴取や調整等で、工夫している点があれば教えてください。(○はいくつ)

1	電話やFAX・メールで照会や打ち合わせを実施している (参加が難しい場合や会議の事前連絡等)
2	利用者が通院する際やサービ担当者の訪問時間に合わせて同席する
3	会議の出席が難しい場合は、主治医・事業所に対し個別に訪問し意見聴取している
4	リモートでの開催を実施した(テレビ会議)
5	その他 ()
6	特になし

【成年後見制度や、あんしんさぽーと事業】

問30 あなたは、成年後見制度事業を知っていますか。(○はひとつ)

1	知っている ⇒問30-1へ
2	知らない ⇒問31へ

【問30で「1 知っている」と回答された方にお聞きします。】

問30-1 あなたは、制度対象者に成年後見制度の利用を勧めたいですか。

(○はひとつ)

1	対象者に利用を勧めたい ⇒問31へ
2	対象者に利用を勧めたくない ⇒問30-2へ
3	どちらともいえない ⇒問30-2へ

【問30-1で「2 対象者に利用を勧めたくない」又は「3 どちらともいえない」と回答された方にお聞きします。】

問30-2 理由は何か。(○はいくつ)

1	利用手続きがわからない
2	利用手続きが難しい
3	申立を行う人がいない
4	利用までに時間がかかる
5	対象者への説明が難しい
6	利用のメリットが無い
7	制度の対象者がどうかかわからない
8	その他 ()

問31 あなたは、あんしんさぽーと事業を知っていますか。(○はひとつ)

1	知っている	⇒問31-1へ
2	知らない	⇒問32へ

【問31で「1 知っている」と回答された方におうかがいします。】

問31-1 あなたは、事業対象者にあんしんさぽーと事業の利用を勧めたいですか。(○はひとつ)

1	対象者に利用を勧めたい	⇒問32へ
2	対象者に利用を勧めたくない	⇒問31-2へ
3	どちらともいえない	⇒問31-2へ

【問31-1で「2 対象者に利用を勧めたくない」又は「3 どちらともいえない」と回答された方におうかがいします。】

問31-2 理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	利用手続きがわからない
2	利用手続きが難しい
3	利用までに時間がかかる
4	対象者への説明が難しい
5	利用のメリットが無い
6	事業の対象者かどうかわからない
7	その他 ()

【利用者の意思決定支援】

問32 あなたは、介護支援専門員業務を行ううえで、利用者の「意思決定支援」という言葉を知っていますか。(○はひとつ)

1	知っている	⇒問32-1へ
2	知らない	⇒問33へ

【問32で「1 知っている」と回答された方におうかがいします。】

問32-1 介護支援専門員業務を行ううえで、利用者の「意思決定支援」の考え方を知っていますか。また、意識していますか。(○はひとつ)

1	考え方を知っているし、意識している
2	考え方は知っているが、意識はしていない
3	考え方は知らない

【ケアプラン作成の課題】

問33 ケアプランを作成するにあたって、課題として考えているのはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1	介護保険外サービスや地域の情報が少ないこと
2	利用者及び家族がサービスの必要性を理解していないこと
3	利用者及び家族との調整が困難なこと
4	サービス事業所を選択するにあたっての情報が足りないこと
5	区分支給限度額が低いこと
6	利用者の経済的理由でサービスが十分利用できないこと
7	介護保険サービス・大阪市の高齢者保健福祉サービスの種類が少ないこと →具体的にどのようなサービスがあればいいとお考えですか。()
8	支援困難な方へのケアマネジメントの方法がわからないこと
9	利用者及び家族の意見・要望を聞き出す時間が十分にとれないこと
10	同じ経営母体のサービス事業所が提供するサービスに偏りがちになること
11	自分の力量について不安があること
12	事業所内のミーティングの時間がとりにくいこと
13	新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の意向で十分なサービスをプランに反映できない
14	新型コロナウイルス感染症の影響によるサービス事業所の休止・廃止等により調整等が難しい
15	その他 ()

【自立支援型のケアマネジメント】

問34 あなたは、高齢者自身が描く将来像の実現をめざし、そのために必要なリハビリテーション等の機能強化等をケアプランに位置づける自立支援型のケアマネジメントを実施していますか。(○はひとつ)

1	はい	⇒問34-1へ
2	いいえ	⇒問34-2へ

【問34で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】

問34-1 自立支援型ケアマネジメントを実施するにあたって困難な点は何ですか。(○はいくつでも)

1	高齢者自身の自立支援に関する理解不足
2	自立支援に資するインフォーマルサービスの不足
3	サービス提供事業所の理解が進まない
4	自身のアセスメント等の技量不足

【問34で「2 いいえ」と回答された方におうかがいします。】

問34-2 自立支援型ケアマネジメントを実施していない理由は何ですか。
(○はいくつでも)

1	高齢者から求められない・高齢者の希望と相容れない
2	自立支援型ケアマネジメントが求められている理由がわからない
3	自身のアセスメント等の技量に自信がない
4	その他 ()

【自立支援型ケアマネジメント検討会議】

問35 自立支援型ケアマネジメント検討会議に参加したことはありますか。
(○はひとつ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

【支援困難な利用者の有無】

問36 あなたが担当している利用者のなかに、様々な理由で支援が困難な方がいますか。(○はひとつ)

1	いる ()	人	⇒問36-1へ	2	いない	⇒問37へ
---	--------	---	---------	---	-----	-------

【支援困難の内容】

【問36で「1 いる」と回答された方におうかがいします。】

問36-1 どのようなことで支援が困難となっておりますか。(○はいくつでも)

1	家族の協力が得られないこと（家族間の不仲、理解不足等）
2	利用者の性格によるもの（不満や苦情が多い、介護支援専門員に攻撃的な ど）
3	経済的理由
4	利用者がサービスの利用を拒否すること（介護拒否）
5	利用者に認知症による諸症状があること
6	利用者が精神疾患のため不安定なこと
7	利用者に医療的な処置があること
8	家族の介護疲れや疾病、障がいによる介護力不足
9	利用者及び家族が介護予防的なケアプランを拒否すること
10	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者のサービスの利用控えにより 適切と考えるプラン作成に同意が得られない
11	その他 ()

【支援困難事例の対応方法】

問37 あなたは支援が困難な方についてどのように対応してきましたか。
(○はいくつでも)

1	事業所内の上司や同僚に相談した（している）
2	他の事業所の介護支援専門員に相談した（している）
3	地域包括支援センターに相談した（している）
4	地域包括支援センターに相談した結果、地域ケア会議の開催となった
5	地域包括支援センター以外の行政機関（区役所、市役所、府庁）に相談し た（している）
6	見守り相談室に相談した（している）
7	区の居宅介護支援事業者連絡会等で相談した（している）
8	誰にも相談せず、自分で対応した（している）
9	その他 ()

【認知症高齢者等へのケアプラン作成】

問38 担当する認知症や障がいのある高齢者のケアプラン作成にあたって、特に困難
を感じていることはありますか。(○はいくつでも)

1	独居や近隣に家族がいないなど、利用者の状況について相談できる人がいない
2	認知症の症状が急変したときの対応
3	病気をお持ちの家族への対応
4	家族等介護者との意見の相違
5	サービス事業者や後見人利用等の手続き
6	介護支援専門員やヘルパーなどサービス従事者への妄想、受け入れ拒否
7	医療機関への受診や服薬管理
8	金銭管理の援助
9	着替え、整髪、歯磨き、爪切りなどの清潔保持
10	徘徊・暴力・異食など行動障がいに対する対応
11	幻覚、妄想、うつなど行動・心理症状への対応
12	近隣住民からの苦情
13	その他 ()
14	特にない

【認知症高齢者等へのケアプラン作成にかかる課題解決】

問38-1 問38の課題解決のために、どのような対応をしていますか。

(○はいくつでも)

1	主治医からの助言を得る
2	地域包括支援センターへの相談や地域ケア会議への参加
3	認知症初期集中支援チーム（通称「オレンジチーム」）へ相談
4	認知症地域支援推進員へ相談
5	認知症疾患医療センターへ相談
6	区役所への相談
7	サービス担当者会議での十分な意見調整
8	あんしんさぼーと事業や成年後見制度の利用
9	民生委員や地域組織の役員など近隣へ相談
10	権利擁護支援に係る専門職派遣（地域包括支援センター等を通じて大阪市成年後見支援センターに依頼）の利用
11	本人宅に支援ノートを置くなどサービス事業者間での情報共有
12	障がい者制度関係機関
13	その他（
14	特にしていない

【高齢者虐待】

問39 あなたが担当している利用者のなかに、高齢者虐待を受けている、または疑いがあると思われる方がいますか。(○はひとつ)

1	いる	⇒問39-1へ	2	いない	⇒問40へ
---	----	---------	---	-----	-------

【虐待の発見後、地域包括支援センターなどへの相談等】

【問39で「1 いる」と回答された方におうかがいます。】

問39-1 高齢者虐待を発見した後、区役所（保健福祉センター）または地域包括支援センターに相談（通報）しましたか。(○はひとつ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

【通報の義務】

問40 虐待の疑いがある高齢者を発見した場合、通報の義務があることを知っていましたか。(○はひとつ)

1	はい	2	いいえ
---	----	---	-----

【虐待の発見後、相談（通報）しなかった理由】

【問39-1で「2 いいえ」（区役所や地域包括支援センターに相談（通報）しなかった）と回答された方におうかがいます。】

問40-1 相談（通報）しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1	利用者や家族との関係が悪化することを避けたかった
2	相談（通報）することで契約を解除されることをおそれた
3	家族の問題なので介入してはいけないと思った
4	家族が頑張って介護を行っているので、家族の思いをくんでしまい相談できなかった
5	その他（

問41 あなたが関係する介護サービス事業者は、虐待の疑いがある高齢者を発見した場合、通報の義務があることを知っていますか。(○はひとつ)

1	知っている
2	やや知っている
3	あまり知らない
4	知らない

【仕事の満足感】

問42 あなたは、ご自身の仕事に満足感を感じていますか。(○はひとつ)

1	感じている	2	やや感じている
3	あまり感じていない	4	感じていない

【レベルアップのための取り組み】

問43 自分の介護支援専門員業務のレベルアップのために、現在どのような取り組みを行っていますか。(○はいくつでも)

1	自主的な勉強会を行っている
2	居宅介護支援事業者連絡会等に参加している
3	ケースカンファレンス等で具体的な検討をし、助言を受けている
4	法人内の研修に参加している
5	外部研修に参加している
6	参考書等を読んでいる
7	自立支援型ケアマネジメント会議に積極的に参加している
8	その他（

問43-1 問43の取り組みのうち、現在行っていないが、今後始めたいと思っ
ている取り組みはありますか。(○はいくつでも)

1	自主的な勉強会を行いたい
2	居宅介護支援事業者連絡会等に参加したい
3	具体的な検討・助言を得られるケースカンファレンス等を行いたい
4	法人内の研修に参加したい
5	外部研修に参加したい
6	参考書等を読んで知識などを増やしたい
7	その他 ()

【業務を行ううえでの課題】

問44 介護支援専門員業務を行ううえで、課題として考えているのはどのようなこと
ですか。(○はいくつでも)

1	介護保険サービス、大阪市の介護保険外サービスの種類が少ない
2	サービス事業所に関する情報が少ない
3	利用者及び家族がサービスの必要性を理解していない
4	忙しくて利用者の意見・要望を聞き調整する時間が十分とれない
5	多くの問題を抱えている利用者へのケアマネジメントの方法がわからない
6	認知症ケアの方法がわからない
7	医療機関等、他の施策分野との連携がうまくとれない
8	地域包括支援センターとの連携がうまくとれない
9	区や市との連携がうまくとれない
10	相談できる人が身近にいない
11	同じ経営母体のサービス事業所が提供するサービスに偏る
12	記録と書類の量が多く負担となっている
13	利用者に介護保険制度が十分理解されていない
14	介護保険サービスを組み込まないインフォーマルサービス等だけのケア プラン調整が介護報酬で評価されない
15	要介護認定結果がでるまでの「暫定ケアプラン」調整について、「要支援」 の認定が出た際には介護報酬で評価されない
16	感染症対策
17	その他 ()

【地域包括支援センターへ期待する役割】

問45 あなたは地域包括支援センターにどのような役割を期待していますか。
(○はいくつでも)

1	業務全体に対するスーパーバイズ
2	困難事例に対する助言、支援
3	地域ケア会議の開催
4	専門性向上のための研修の開催や研修情報の提供
5	介護支援専門員同士のネットワークの構築
6	関係機関のネットワークの構築
7	その他 ()

【地域包括支援センター・区役所等の連携】

問46 地域包括支援センター・区役所（保健福祉センター）と連携するときどのよ
うな場合ですか。(○はそれぞれいくつでも)

	①地域包括 支援センター	②区役所 (保健福祉センター)
1	多くの問題を抱えている利用者への対応	1
2	苦情相談の対応	2
3	援助や支援が困難なケースの対応 (虐待除く)	3
4	虐待ケースの対応	4
5	判断能力が低下した方の財産管理等の 対応	5
6	介護保険外サービス制度の対応	6
7	特に連携していない	7
8	その他 ()	8

【地域包括支援センター・区役所等の連携における課題・問題点等（自由記述）】

問47 地域包括支援センター・区役所（保健福祉センター）と連携を図るうえでの課題や問題点等があれば、ご自由にご記入ください。

<地域包括支援センター>

<区役所（保健福祉センター）>

【ヤングケアラーに関すること】

問48 あなたが担当する高齢者を18歳未満の親族や家族の方が介護していますか。
(○はひとつ)

1 はい ⇒問48-1へ

2 いいえ ⇒問49へ

【問48で「1 はい」に○をつけた方におたずねします。】

問48-1 18歳未満の方が、高齢者に対して行っている介護は何ですか。
(○はいくつでも)

1 見守り、声かけ

2 食事の介助

3 調理・掃除・洗濯などの支援

4 コミュニケーション支援

5 外出する時の介助

6 入浴する時の介助

7 排泄の介助

8 着替えの介助

9 通院先での介助

10 入院先での介助

11 医療的ケア

12 その他（ ）

問48-2 18歳未満の方はだれと介護していますか。(○はひとつ)

1 ひとりです

2 家族・親族としている

問48-3 高齢者を介護している18歳未満の方は、学校などに通学していますか。
(○はひとつ)

1 通学している

2 通学していない

問48-4 18歳未満の方が高齢者を介護する頻度はどの程度ですか。(○はひとつ)

1 ほぼ毎日

2 週1～2日

3 週3～5日

4 1か月に数日

5 その他（ ）

問48-5 18歳未満の方が、高齢者の介護に費やす時間は一日あたりの程度ですか。
(○はひとつ)

1 1時間未満

2 1時間以上～3時間未満

3 3時間以上～6時間未満

4 6時間以上～8時間未満

5 8時間以上

【すべての方におうかがいします】

問49 18歳未満の方が、高齢者の介護をしている姿をよく見かけるときに、相談できるところを知っていますか。(○はいくつでも)

1 子どもが通う学校

2 民生委員・児童委員

3 各区役所にある子育て支援室

4 その他（ ）

5 特になし

【行政に対する期待】

問50 今後行政に期待する役割は何ですか。(○はいくつでも)

1 相談機能の充実

2 研修の充実

3 サービス基盤の充実

4 情報提供の充実

5 その他（ ）

介護保険制度について、ご意見・ご要望がありましたらご自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。